

外国語学習指導案

令和5年11月24日(金) 第5校時 3階イングリッシュルーム
藤岡市立神流小学校 6年1組 指導者 新井 優子
ALT アイリン・コルシノ

1 単元名 Unit 6 Let's think about our food. (東京書籍 NEW HORIZON English Course 6)

2 学びのつながり

(1) 学習指導要領における位置

「聞くこと」イ

「話すこと(発表)」ウ

(2) 北連携型小中一貫校での指導の重点

①主体的な学習態度の育成

②共感的な人間関係の育成

(3) これまで、ここでは、このあとは

ア これまでの学び

言語面では、Unit4 「夏休みの思い出を紹介しよう」で、食べたものを伝える表現を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けた。他教科との関連では、5年の社会科の授業で食品の産地を学習したり都道府県や外国の国々の学習をしたりしている。また、家庭科の授業では、食品の主な栄養素について学んできた。

内容面では、Unit3 で、担任の先生のためにおすすめの国をペアで紹介する活動を行っている。

イ ここでの学び

言語面では、食べたものや普段食べるもの、食品の産地や栄養素のグループを伝える表現などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付ける。社会科、家庭科との関連性をもたせた活動を取り入れていく。

内容面では、市内のALTためのオリジナルカレーをペアで考えて発表していく活動を行う。ICTを使ってALTにインタビューをして好みなどを聞き取り、ペアで協力してALTのためのオリジナルカレーを考えていく活動は、児童が意欲をもって取り組めると考える。

ウ このあとの学び

このあとも児童は、自分のことや身の回りのことについて英語で伝え合う活動を行っていく。友達と協力して考えながらオリジナルカレーを紹介した経験を、この後の6年生Unit8 「夢宣言カードでスピーチをしよう」や中学校での「日本の伝統文化を紹介しよう」の学習につなげていけると考える。

(4) 本単元に関わる児童の実態

男子14名、女子11名、計25名の児童と、特別支援学級に在籍している児童1名が共に外国語を学んでいる。本学級の児童は、英語を話せるようになりたいという思いで、真面目に学習できる児童である。ALTや外国の人と話すことと発表することについての質問では、約60%の児童が「好き・どちらかと言えば好き」と答えている。「どちらかと言えば苦手」と答えた児童でも、学期末に行っている1対1でのALTとの会話は「緊張するけど楽しかった」と答えている。人と話すことや人前で話すことに抵抗を感じる児童もいるので、ペアやグループで発表したりするなど発表の形態を工夫し、自信をもって活動に取り組める状態をつくれるように指導し、英語を話すことが楽しいと思えるようにしていきたい。

3 評価規準

・食べ物、生産地、値段・状態や頻度を表す語句や、

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
--	-------	----------	---------------

話すこと (発表)	<ul style="list-style-type: none"> ・I ate ～. I usually eat ～.などの表現、および食事に関する語句などについて理解している。 ・オリジナルカレーについて、I ate ～. I usually eat ～. ～ is from・・・. ～ is in the・・・group.などの表現、および値段や状態を表す語句などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に喜んでもらうために、オリジナルカレーについて、産地や自分の考えや気持ちなどを含めて、聞き手が分かりやすいように話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に喜んでもらうために、オリジナルカレーについて、産地や自分の考えや気持ちなどを含めて、聞き手が分かりやすいように話そうとしている。
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物、産地、値段・状態や頻度を表す語句や、I ate ～. I usually eat ～. ～ is from・・・. ～ is in the・・・group.などの表現について理解している。 ・産地や食べ物の食品グループについて、聞き取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTが話す好きなカレーについて、具体的な情報を聞き取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTが話す好きなカレーについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。

4 指導・評価計画（8時間）

過程	時間	○学習活動 めあて	評価項目
ふれる	2	<p>フィリピンと日本のカレーの違いを聞き取ろう。</p> <p>○ALTの好きなカレーの説明を聞いておおよその内容を理解し、単元の学習のめあてをつかむ。</p> <p>【単元のめあて】 ALTへのオリジナルカレーを紹介しよう。</p> <p>○エミリーとひろしの対話を聞いて、おおよその内容を理解する。</p>	
追究する	2	<p>食品の産地を伝え合ったり、食べ物がどの栄養素のグループに分けられるかを伝えたりする表現に親しもう。</p> <p>○教科書のちらしを用いて食品の産地や値段を伝え合う。</p> <p>○教科書の食品グループの図を用いて、どの食品グループに入るかを伝え合う。</p>	
	1 本時	<p>ALTの先生のためのカレーを考えるために必要な情報を聞き取ろう。</p> <p>○オンライン会議システムを活用して校外のALTとやり取りし、ALTが好きなカレーや産地をインタビューする。</p>	<p>知産地や食べ物の食品グループについて、聞き取る技能を身に付けている。〈アンケート収集機能・行動観察〉</p> <p>思 主ALTが話す好きなカレーについて、具体的な情報を聞き取っている。〈アンケート収集機能・行動観察〉</p>
	1	<p>○ALTへのオリジナルカレーについて考え、グループで紹介する。</p>	

1	<p>ALTの先生へのオリジナルカレーを紹介しよう。</p> <p>○グループごとにクラスの友達の前で発表する。 ○発表の動画を撮って、振り返る際に用いたり ALT に後日送ったりする。</p>	<p>思 主相手に喜んでもらうために、オリジナルカレーについて、産地や自分の考えや気持ちなどを含めて、聞き手が分かりやすいように話している。〈行動観察〉</p> <p>知オリジナルカレーについて、I ate ～. I usually eat ～. ～ is from……。 ～ is in the … group. などの表現、および値段や状態を表す語句などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。〈行動観察〉</p>
	<p>1</p> <p>食事や産地などに関する表現を振り返り、単元で学んだことをまとめよう。</p> <p>○発表を相互評価する。 ○日本と世界の食糧事情について考える。</p>	

5 本時の学習

(1) ねらい

ALTへのインタビューでのやり取りを通して、食材や生産地、食品グループについて聞き取ることができる。

(2) 中心のつなぎ教材

教材名	「こんなときどう言うの」カード、Let' s Chant
目的	学習した「相づち」等を使用することで、聞き取るべき情報を意識させて自然な会話ができるようにする。
つなぎ方	ALTにインタビューをする場面で、学習した表現を実際に使える表現としてつなぐ。

(3) 授業中の生徒指導及び人権教育の視点

A 自己決定	自分でALTに聞きたいことを考え、実際に尋ねる場を設定する。
B 自己存在感	全員に会話の機会をもたせる。
C 共感的人間関係	相手を受容する相づち等を使用させる。
D 安心・安全な風土	安心して自分の考えが表現できるよう、ペアやグループで協力して活動させる。

(4) 展開

学習活動と 予想される児童の反応	時間	・指導上の留意点 ◎つなぎ教材 人権に関わる視点は___下線
・Greetings ○本時のめあてをつかむ	5	【これまで】前時までに学習した表現を使って、ALTの好みを知るためにインタビューすることを確認する。
<p>【ここでは】めあて ALTの先生のカレーを考えるために必要な情報を聞き取ろう。</p>		
○Let' s Chant ○インタビューを円滑に行うための会話練習をグループで行う。		<p>◎【つなぎ教材】Let' s Chant で、相手の答えに反応する練習をする。</p> <p>◎【つなぎ教材】インタビューで実践できるように、「こんなときどう言うの」カードを示し、相手に配慮しながら練習させる。</p> <p>〈やり取りのポイント〉</p> <p>① 相づち (Nice. / Really? I like beef curry.)</p>

		<p>② くり返し (You like pork curry.)</p> <p>③ 関連する質問 (Why? / Do you like ~?)</p>
○グループごとにALTにインタビューをする。	15	<p>【共感的人間関係】<u>相手と気持ちよく話し自然なやり取りができるよう</u>、「やり取りのポイント」を示し、相手に配慮しながらインタビューさせる。</p> <p>【自己決定】ALTとの自然な流れでカレーについてのやり取りができるよう、事前に質問を考えさせた上で聞きたい質問までたどりつくようにしておく。</p> <p>【安心・安全な風土】<u>安心して自分の考えが表現できるよう</u>、ペアやグループで協力して活動させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他グループの声が妨げにならずに話しができるよう、使える教室を使って1教室2～3グループの配置にする。 <p>【自己存在感】実際にALTと話す機会を全員にもたせる。</p>
○アンケート収集機能を用いてインタビューの振り返りを行う。	5	<ul style="list-style-type: none"> アンケートに答え、聞き取ったことを各自で確認する。 <p>〈アンケート項目〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ALTが好きなカレーは何カレーでしたか。 その食材の産地はどこでしたか。 その食材は何色のグループに入ると言っていましたか。 ALTはどんなカレーが好きか、分かったことをなるべくくわしく書きましょう。 <ul style="list-style-type: none"> 記入が済んだ児童には、グループで聞き取れたことを確認させておく。
○クラス全体で、聞き取ったことを確認する。	10	<ul style="list-style-type: none"> 教室のALTによる質問に答えながら、インタビューしたALTから得た情報をクラスで共有していく。 正しく言えなかった児童には、繰り返すことで正しい答えを伝えていく。 <p>“What curry do you like?”</p> <p>“Where is the pork from?”</p> <p>“What color group is pork in?”</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>知産地や食べ物の食品グループについて、聞き取る技能を身に付けている。(アンケート収集機能・行動観察)</p> <p>思主ALTが話す好きなカレーについて、具体的な情報を聞き取っている。(アンケート収集機能・行動観察)</p> </div>
○聞き取ったことを元に、ALTへのカレーについてグループで話し合う。	5	<ul style="list-style-type: none"> 次時に生かせるように、考えたことはメモさせておく。
○本時を振り返る。 〈言語面〉ALTの好きなカレーや好きなことが聞き取れた。○○という言葉が聞き取れなかった。思っていたより聞けた。 〈内容面〉ALTは◎○が好きで驚いた。	5	<ul style="list-style-type: none"> 言語面と内容面について振り返れるようにする。 本時のよかったところを賞賛し、次時以降の意欲を高める。 <p>【このあとは】次時は、聞き取ったことを生かして、ALTへのオリジナルカレーの発表練習をすることを伝える。</p>